

湧別町介護保険事業の特徴

当町の介護保険事業について、地域包括ケア「見える化」システムより、近隣市町と比較し、当町の特徴と要因分析を実施しました。

1 比較団体

市町名	人口(人)	第1号被保険者数(人)	高齢化率
湧別町	7,445	3,137	40.7%
遠軽町	17,688	6,847	39.3%
佐呂間町	4,369	1,828	40.3%
紋別市	19,510	7,453	38.3%
北見市	109,738	38,304	35.9%
北海道	5,007,066	1,661,210	33.7%

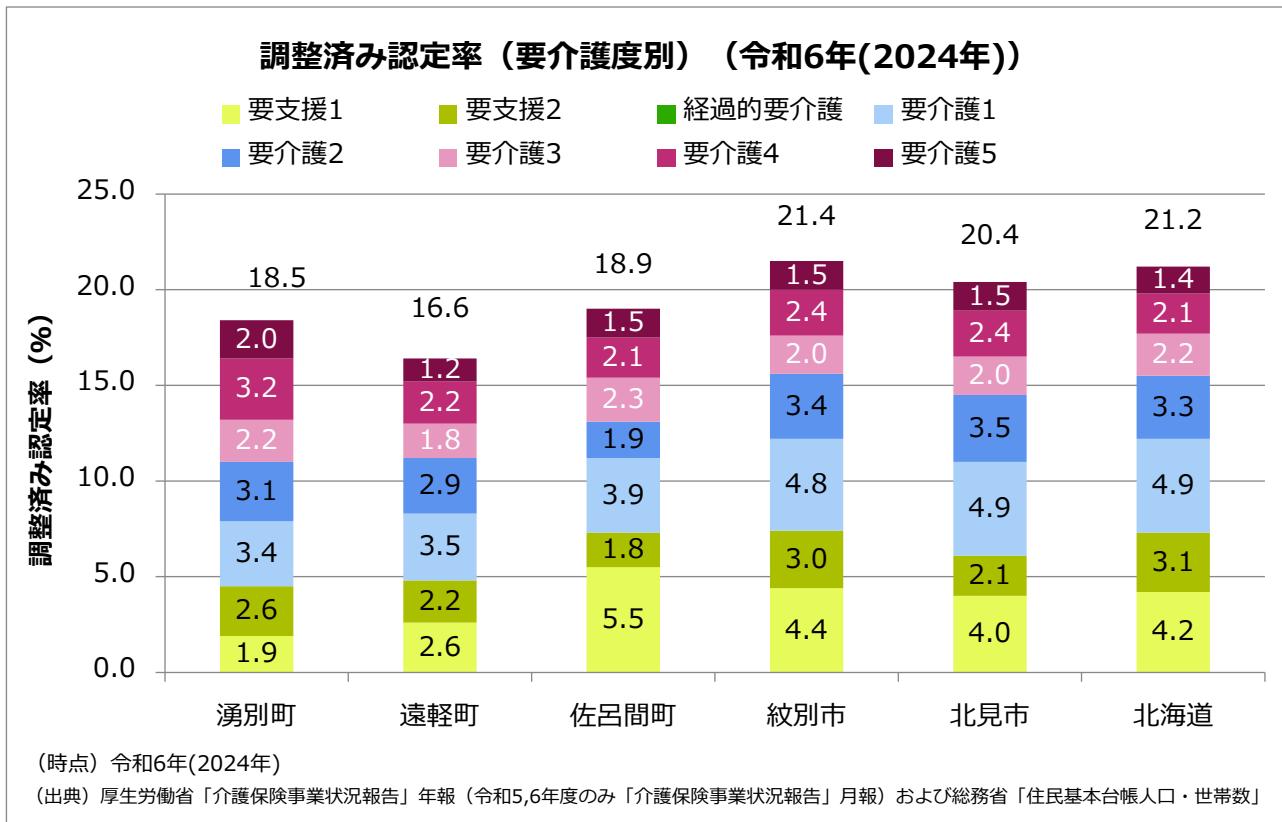
出典：人口及び高齢化率

総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
(2025年)

出典：第1号被保険者数

厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報（令和7年3月末時点）

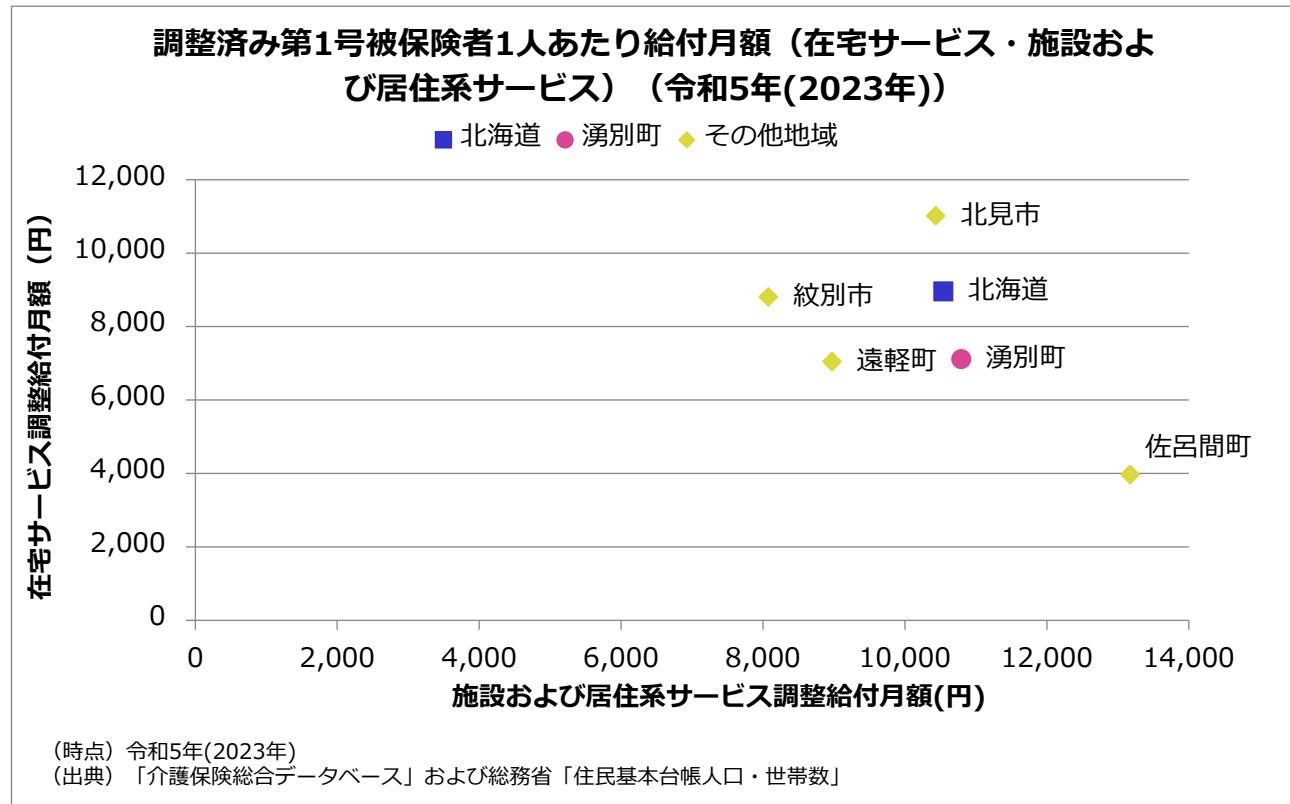
2 要介護認定率



※本指標は、要介護度別の「調整済み認定率」を示すものです。「調整済み認定率」とは、第1号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるよう調整することで地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

当町の認定率は、北海道平均を 2.7 ポイント低くなっています。しかし、「要介護 4」及び「要介護 5」に限った場合、北海道平均を上回る認定率となっており、近隣市町との比較においてもその傾向は同様です。一方で、「要支援 1」から「要介護 2」の軽度認定者の割合は、北海道平均や近隣市町に比べて低くい割合となっています。

3 一人当たりの給付費（費用年齢等調整済み）

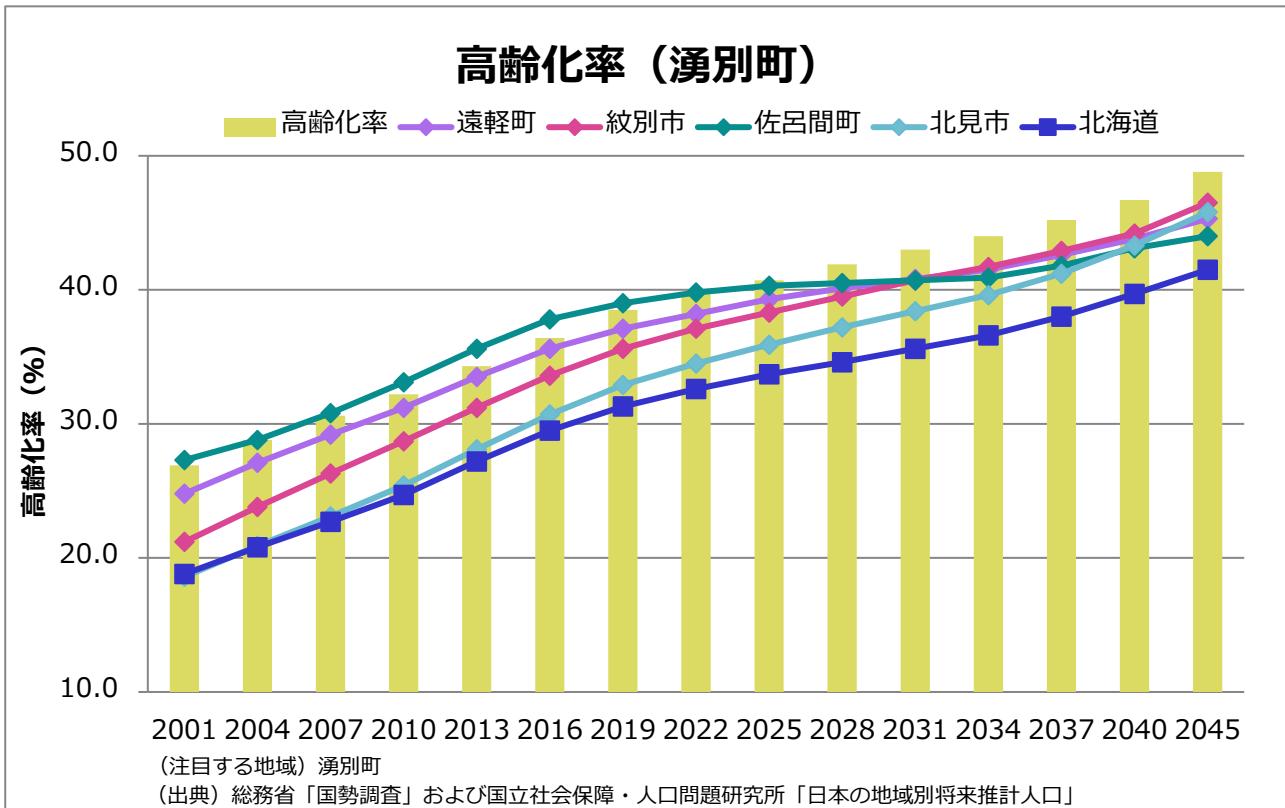


※本指標は、「調整済み第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額」を在宅サービスと施設及び居住系サービスという軸で分け、散布図で示したものです。「調整済み第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額」とは、第 1 号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるよう調整することに加え、単位数に一律 10 円を乗ずることによって地域間での比較がしやすいうように調整した数値です。

当町の給付月額の傾向は、縦軸の在宅サービスの給付月額では、北海道平均より下回っていますが、横軸の施設および居住系サービスの給付月額では、北海道平均より若干上回っています。

近隣市町と比較すると、在宅サービスの給付額は 3 番目、施設及び居住系サービスの給付額は 2 番目に位置しています。

4 高齢化率の推移・推計



上表において、当町の高齢化率は棒グラフ、北海道及び近隣市町は線グラフで表示しております。

当町の高齢化率は北海道平均より高く推移しており、近隣市町と比較すると、2028 年以降は最も高い高齢化率になることが見込まれております。

5 まとめ（当町の特徴と要因分析）

当町の特徴として、性・年齢構成の影響を除外した第1号被保険者1人あたり給付給付月額を北海道平均と比較すると、在宅サービスは下回る一方で、施設サービスが上回る傾向となっています。また、近隣市町と比較しても同様の傾向がみられます。

要因として、当町では要支援1～要介護2の軽度認定者の割合が低い一方で、要介護4及び要介護5の重度認定者の割合が高い傾向にあります。また、特別養護老人ホームの床数が近隣市町と比較して人口規模に対して相対的に多いことから、施設サービスの利用が多くなっていると考えられます。

これらの現状を踏まえると、要介護状態が重度化することを防ぐためには、元気なうちから介護予防に取り組むこと、さらに重度化防止への取り組みを推進することが重要となります。

また、可能な限り住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるためには、必要なサービスを安定的に受けられるよう体制の維持が必須となります。さらに、少子高齢化の進展する中で、住民同士が主体的に地域での担い手となり、支えあいの輪を広げていく「支えあいの地域づくり」を進めることも求められます。